野菜病害虫発生予察情報　令和３年度　第１８号

調査日　　令和４年３月９日
調査圃場　３５圃場（軟弱、キャベツ、ブロッコリー、ネギ、いちごなど）
調査機関　神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・全国農業協同組合連合会兵庫県本部・農薬、肥料メーカー・JA兵庫六甲

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数（または使用量）	使用時期	本剤の使用回数
ほうれんそう	ホウレンソウケナガコナダニ	少	中	コテツフロアブル	100～300L/10a	4000～6000倍	２葉期まで 但し、収穫14日前まで	１回
ほうれんそう	べと病	中	並	Ｚボルドー		500倍	—	—
たまねぎ	べと病	少	中	Ｚボルドー		500倍	—	—
いちご	うどんこ病	少	並	カリグリーン		800～1000倍	収穫前日まで	—
いちご	アブラムシ類	中	多	チェス水和剤	150～300L/10a	3000倍	収穫前日まで	３回以内

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので、
部会出荷の場合は部会の暦にある農薬を使用し回数を確認してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

①べと病

下葉から発病することが多く、しだいに上葉にも及び、葉柄や茎にも発病しますので注意しましょう。

②うどんこ病

いちごでうどんこ病の発生が確認されています。物理的防除として、発病した葉・葉柄・ランナー・つぼみ・果実・果梗はすみやかに除去し、感染部位から2次及び3次感染を防ぎましょう。

③アブラムシ

いちごでアブラムシの発生が増加しています。主には浦に生息しているので、薬剤散布する際は薬液が裏に十分にかかるように行いましょう。

たまねぎのべと病に注意

今後1ヵ月の気象予報によると気温は平年より高く、降水量は平年並～多と予想されます。そのためべと病発生の好適な環境（気温15℃前後で曇雨天日が続く）となるので、発生が懸念されます。

①隣接株に比べ草丈が低い　②葉色が黄色
③葉が湾曲している　④株本に白斑がある

上記のような特徴のある株は感染の可能性がありますので直ちに抜き取り、ビニール袋に密閉し、圃場の外で処分しましょう。

病害株の様子

ＪＡ兵庫六甲　神戸西営農総合センター

野菜病害虫発生予察情報　令和３年度　第１７号

調査日　　令和４年２月９日
調査圃場　３５圃場（軟弱、キャベツ、ブロッコリー、ネギ、いちごなど）
調査機関　神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・農薬、肥料メーカー・JA兵庫六甲

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数（または使用量）	使用時期	本剤の使用回数
ニラ	白斑葉枯病	少	並	Ｚボルドー	100～300L/10a	500倍	―	―
キャベツ	菌核病	少	並	ファンタジスタ顆粒水和剤		2000～3000倍	3回以内	収穫３日前まで
いちご	ハダニ類	中	多	グレーシア乳剤		2000倍	2回以内	収穫前日まで

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので、
部会出荷の場合は部会の暦にある農薬を使用し回数を確認してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

病害虫の事前の対策を行いましょう！

こまつなでコナダニが一部で発生しています！！
登録のある剤がないため、前作のほうれんそうを栽培されているときに、アファーム乳剤やコテツフロアブルまたは土壌消毒を実施し、幼苗期の場合は薬害に注意しましょう。

たまねぎのべと病が発生する前の対策を！！
気温15℃前後で曇雨天が1～2日続くと、べと病発生リスクが高まります。べと病は感染力が非常に強く、胞子は風に乗って遠くまで飛散するので注意が必要です。この時期は1次伝染株（健全株に比べ草丈が低く、葉が湾曲）に注意し、罹病株があれば直ちに抜きとり、圃場外に持ち出しましょう。

施設の換気に心がけましょう

施設栽培では、保温のためハウスを締め切ることが多くなると、湿度が高くなり、病気が発生しやすくなります。天候に合わせて適度な換気を心がけましょう。

ラウンドアップ　キャンペーン

水田畦畔や野菜類耕起前の除草に効果が期待できます。規格が大きいほどお買い得になりますので、この機会にぜひお買い求め下さい！

注文締切　３月１１日（金）まで

ＪＡ兵庫六甲　神戸西営農総合センター

野菜病害虫発生予察情報　令和３年度　第１５号

調査日　　令和３年１２月９日
調査圃場　　３５圃場（軟弱、キャベツ、ブロッコリー、にら、ネギ、ケールなど）
調査機関　　神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・JA全農兵庫県本部・農薬、肥料メーカー・JA兵庫六甲

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数（または使用量）	使用時期	本剤の使用回数
非結球あぶらな科葉菜類(チンゲンサイを除く)	アブラムシ類	少	並	スタークル顆粒水溶剤	100～300L/10a	3000 倍	収穫３日前まで	2回以内
ほうれんそう	べと病	少	並	ランマンフロアブル		2000 倍		3回以内
ブロッコリー								
	アオムシ	少	並	トレボン乳剤		1000～2000 倍	収穫前日まで	3回以内
キャベツ	べと病	少	並	ランマンフロアブル		2000 倍	収穫３日前まで	4回以内
	菌核病	少	並	ベンレート水和剤			収穫７日前まで	6回以内
ねぎ	アザミウマ類	少	並	アディオン乳剤		3000 倍		3回以内
	べと病	少	並	ランマンフロアブル	150～300L/10a	2000 倍	収穫３日前まで	4回以内

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので、
部会出荷の場合は部会の暦にある農薬を使用し回数を確認してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

①べと病　品目:ブロッコリー

葉の発病だけでなく、花蕾にも発病しやすい時期のため注意が必要。出蕾期の葉への感染がないか確認し、早期防除を心がける。

②菌核病　品目:・キャベツ

15～20℃の多湿条件下で多く発生する。3～4 月は特に注意が必要。前年も見られた圃場や気象条件的に発生が多いとされる場合は結球開始期から予防的に薬剤散布する。

施設の換気を心がけましょう

施設栽培では、保温のためハウスを締め切ることが多くなると、湿度が高くなり、病気が発生しやすくなります。天候に合わせて適度な換気を心がけましょう。

ＪＡ兵庫六甲　神戸西営農総合センター

野菜病害虫発生予察情報　令和３年度　第１４号

調査日　　令和３年１１月１０日
調査圃場　　３６圃場（軟弱、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、にら、ケールなど）
調査機関　　神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・農薬、肥料メーカー・JA兵庫六甲

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数（または使用量）	使用時期	本剤の使用回数
ほうれんそう	シロオビノメイガ	少	並	プレバソンフロアブル5	100～300L/10a	2000 倍	収穫前日まで	3 回以内
	アブラムシ類	少	並	アクタラ顆粒水溶剤			収穫3 日前まで	2 回以内
ブロッコリー	黒腐病	少	並	Zボルドー（野菜類で登録）		500 倍	―	―
キャベツ	菌核病	少	並	ロブラール水和剤		1000 倍	収穫7 日前まで	4 回以内
	ヨトウムシ	少	並	アファーム乳剤		1000～2000 倍	収穫前日まで	3 回以内
かぶ	ハスモンヨトウ	少	並	ディアナ SC		2500～5000 倍	収穫前日まで	2 回以内

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので、
部会出荷の場合は部会の暦にある農薬を使用し回数を確認してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

①アブラムシ類

短期間のうちに高密度となる。
農薬散布の際は葉裏に十分かかるよう注意する。

②鱗翅目害虫（ハスモンヨトウ・ヨトウムシ等）

生育ステージが進むと薬剤が効きにくくなるため早期防除を行う。

換気を行いましょう

冬期の施設栽培では、保温のためハウスを閉めると、湿度が高くなり、病気が発生しやすくなります。天候に合わせ適度な換気を心がけましょう。

ＪＡ兵庫六甲　神戸西営農総合センター

野菜病害虫発生予察情報　令和３年度　第１３号

調査日　　令和３年１０月１３日
調査圃場　　３６圃場（軟弱、なす、キャベツ、ブロッコリー、にら、ケールなど）
調査機関　　神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・JA全農兵庫県本部
農薬、肥料メーカー・JA兵庫六甲

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数（または使用量）	使用時期	本剤の使用回数
非結球あぶらな科葉菜類（ﾁﾝｹﾞﾝｻｲを除く）	キスジノミハムシ	少	増	スタークル顆粒水溶剤	100～300L/10a	2000 倍	収穫３日前まで	2 回以内
非結球あぶらな科葉菜類	コナジラミ類	甚	増	フーモン	150～500L	1000 倍	収穫前日まで	－
ブロッコリー	黒腐病	少	並	カスミンボルドー	100～300L/10a	1000 倍	収穫７日前まで	4 回以内
ブロッコリー	ヨトウムシ・アオムシ	多	増	アファーム乳剤	100～300L/10a	1000～2000 倍	収穫3日前まで	3回以内
キャベツ	ヨトウムシ・アオムシ	多	増	アファーム乳剤	100～300L/10a	1000～2000 倍	収穫前日まで	3回以内
ブロッコリー・キャベツ	アブラムシ類	多	増	スタークル顆粒水溶剤	100～300L/10a	2000～3000 倍	収穫3日前まで	2 回以内
ケール	ヨトウムシ・アオムシ	多	増	アファーム乳剤	100～300L/10a	1000～2000 倍	収穫７日前まで	3 回以内

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので、
部会出荷の場合は部会の暦にある農薬を使用し回数を確認してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

害虫の増加に注意！

・**ヨトウムシ類**の発生が引き続き野菜類全般で確認されています。初期防除に努めましょう。
・**アブラムシ類**がブロッコリー・キャベツにて確認されております。農薬散布の際は、葉裏まで十分かかるように丁寧に散布しましょう。

体調管理に注意

・暖かい日が続いていましたが、今週から急に気温が低下しています。急激な温度変化に体調を崩さないよう気を付けましょう。

ＪＡ兵庫六甲　神戸西営農総合センター

野菜病害虫発生予察情報　令和３年度　第１２号

調査日　　令和３年９月２２日
調査圃場　　３６圃場（軟弱、なす、キャベツ、ブロッコリー、にら、ピーマンなど）
調査機関　　神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・JA全農兵庫県本部
農薬、肥料メーカー・JA兵庫六甲

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数（または使用量）	使用時期	本剤の使用回数
非結球あぶらな科葉菜類	キスジノミハムシ	少	増	モスピラン顆粒水溶剤	100～300L/10a	4000 倍	収穫７日前まで	1回以内
	アブラムシ類					4000 倍		
ブロッコリー	アブラムシ類	少	並	ハチハチ乳剤		1000 倍～2000 倍	収穫７日前まで	2回以内
	コナガ	少	並			1000 倍～2000 倍		
キャベツ	黒腐病	中	並	カスミンボルドー		1000 倍	収穫７日前まで	4回以内
	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ、オオタバコガ	小	並	プレオフロアブル		1000 倍		2回以内
じゃがいも	テントウムシダマシ類	多	並	アクタラ顆粒水溶剤		2000 倍	収穫14日前まで	3回以内
にんじん	アブラムシ類	中	並	モスピラン顆粒水溶剤		4000 倍	収穫前日まで	3回以内

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので、
部会出荷の場合は部会の暦にある農薬を使用し回数を確認してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

害虫の増加に注意！

・ヨトウ類・アブラムシ類の発生が野菜類全般で確認されています。初期防除に努めましょう。

・不安定な天気が続いていますが、防除等の作業はできるだけ適期に行いましょう。

農作業事故に注意！

・トラクター等の整備不良や操作ミスが転落・横転・追突の事故を引き起こしやすくなります。事前の整備点検と安全確認を実践しましょう。

ＪＡ兵庫六甲　神戸西営農総合センター

野菜病害虫発生予察情報　令和３年度　第１１号

調査日　　令和３年９月８日
調査圃場　　３３圃場（軟弱、なす、キャベツ、ブロッコリー、にら、ピーマンなど）
調査機関　　神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・JA全農兵庫県本部
兵庫県農業共済組合・農薬、肥料メーカー・JA兵庫六甲

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数（または使用量）	使用時期	本剤の使用回数
こまつなみずな	キスジノミハムシ	少	増	スタークル顆粒水溶剤	100～300L/10a	2000 倍	収穫 3 日前まで	2回以内
ブロッコリー	アブラムシ類	少	並	モスピラン顆粒水溶剤		2000 倍	収穫 14 日前まで	3回以内
	コナガ	少	並					
なす	ハダニ類	中	並	アファーム乳剤		2000 倍	収穫前日まで	2回以内
	コナジラミ類	少	並					
きゅうり	うどんこ病	多	並	アミスター20フロアブル		1500～2000 倍	収穫前日まで	4回以内
	アザミウマ類	多	並	スピノエース顆粒水和剤		5000 倍	収穫前日まで	2回以内
ピーマン	斑点病	中	並	アフェットフロアブル		2000 倍	収穫前日まで	3回以内

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので、
部会出荷の場合は部会の暦にある農薬を使用し回数を確認してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

害虫の増加に注意！

・ヨトウ類の発生が野菜類全般で確認されています。初期防除に努めましょう。

・秋冬作の苗を植え遅れている場合は、害虫の発生に注意するとともに、老化苗にならないよう液肥の施用等、対策をしましょう。

異物混入に注意！

・出荷調整時に異物（虫やゴミ等）が混入しないように、今一度確認しましょう。

・害虫は葉の裏や株元等に隠れていることが多いので、しっかり確認しましょう。

・作業場の整理整頓を心がけましょう。

ＪＡ兵庫六甲　神戸西営農総合センター

野菜病害虫発生予察情報　令和３年度　第１０号

調査日　　令和３年８月２５日
調査圃場　　２３圃場（軟弱、なす、ブロッコリー、にら、ピーマンなど）
調査機関　　神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・JA全農兵庫県本部
兵庫県農業共済組合・農薬、肥料メーカー・JA兵庫六甲

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数（または使用量）	使用時期	本剤の使用回数
こまつなみずな	キスジノミハムシ	多	増	ブロフレア SC	100～300L/10a	2000 ～ 4000 倍	収穫前日まで	3 回以内
にら	さび病	少	並	アフェットフロアブル		2000 倍	収穫7日前まで	1 回以内
ブロッコリー	アブラムシ類	少	並	アディオン乳剤		2000～3000 倍	収穫 3 日前まで	5 回以内
	コナガ	少	並			2000 倍		
なす	ハダニ類	中	増	グレーシア乳剤		2000 倍	収穫前日まで	2 回以内
	コナジラミ類	少	並					
きゅうり	うどんこ病	中	並	トップジン M 水和剤		1500～2000 倍	収穫前日まで	5 回以内
ピーマン	斑点細菌病	少	並	カスミンボルドー		1000 倍	収穫前日まで	5 回以内
とうもろこし	アワヨトウ	少	並	トレボン乳剤		1000 倍	収穫 7 日前まで	4 回以内

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

高温による害虫の増加に注意！

兵庫県の病害虫発生予報では、

ハイマダラノメイガ（ダイコンシンクイムシ）→多

ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ→やや多

の発生予想です。生育初期に多発すると被害が甚大になりますので、初期の予防に努めましょう。

熱中症　引き続き警戒を！

・こまめな休憩

・こまめな塩分・水分補給

・作業時間帯の調整

・単独での作業を避ける

・一定以上の距離が取れる場合はマスクを外す

ＪＡ兵庫六甲　神戸西営農総合センター

野菜病害虫発生予察情報　令和３年度　第９号

調査日　　令和３年８月１０日
調査圃場　　３０圃場（軟弱、トマト、なす、ねぎ、にら、えだまめなど）
調査機関　　神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・JA全農兵庫県本部
兵庫県農業共済組合・農薬、肥料メーカー・JA兵庫六甲

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数（または使用量）	使用時期	本剤の使用回数
こまつな みずな	キスジノミハムシ	少	増	モスピラン 顆粒水溶剤(劇)	100～ 300L/10a	4000 倍	収穫7日前まで	1回
なす	コナジラミ類	甚	増	スタークル顆粒 水溶剤		2000～ 3000 倍	収穫前日まで	2 回以内
	ハダニ類	少	中	カスケード乳剤		2000 倍	収穫前日まで	4 回以内
きゅうり	うどんこ病	少	並	ダコニール 1000		1000 倍	収穫前日まで	8 回以内
ピーマン	斑点病	少	並	アフェット フロアブル		2000 倍	収穫前日まで	3 回以内
トマト	灰色かび病	少	並	アミスター20 フロアブル		2000 倍	収穫前日まで	4 回以内
モロヘイヤ	アザミウマ類	少	並	スピノエース顆粒 水和剤		5000 倍	収穫３日前まで	3 回以内
えだまめ	べと病	多	増	ランマンフロアブル		1000～ 2000 倍	収穫３日前まで	3 回以内

★高温障害に注意！

高温が続くと農作物の品質、収量低下が起こることがあります。具体的な障害としては、「結球物の小玉化」「短茎」「生育遅れ」「葉焼け」「着果不良」「害虫の食害」等です。

≪対策≫

遮光資材を活用しましょう。ハウス内の温度が上昇するのを抑えましょう。高温状態下では蒸散量が増えるので、朝、夕に灌水しましょう。

★大雨に注意！

≪事前対策≫

降雨前に排水溝や畝の谷を再点検して、排水の妨げとなる草やゴミを除去しましょう。

≪事後対策≫

早急に圃場の排水を行いましょう。破損した葉や茎を除去して病害防除のために薬剤散布を行いましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

JA 兵庫六甲　神戸西営農総合センター

野菜病害虫発生予察情報　令和３年度　第８号

調査日　令和３年７月２８日
調査圃場　３０圃場（軟弱、トマト、なす、ねぎ、にら、スイートコーンなど）
調査機関　神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・JA全農兵庫県本部
兵庫県農業共済組合・農薬、肥料メーカー・JA兵庫六甲

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数（または使用量）	使用時期	本剤の使用回数
こまつな みずな	キスジノミハムシ	少	増	スタークル 顆粒水溶剤	100～300L/10a	2000 倍	収穫3日前まで	2 回以内
ねぎ	アザミウマ類	少	増	ファインセーブ フロアブル		1000～2000 倍	収穫 3 日前まで	2 回以内
なす	ハダニ類	少	並	カスケード乳剤		2000 倍	収穫前日まで	4 回以内
きゅうり	うどんこ病	少	並	ダコニール 1000		1000 倍	収穫前日まで	8 回以内
ピーマン	斑点病	少	並	アフェット フロアブル		2000 倍	収穫前日まで	3 回以内
トマト	灰色カビ病	少	並	アミスター20 フロアブル		2000 倍	収穫前日まで	4 回以内
モロヘイヤ	ハダニ類	少	並	ダニトロン フロアブル	150～300L/10a	2000 倍	収穫 7 日前まで	1回以内
えだまめ	べと病	中	増	ランマンフロアブル	100～300L/10a	1000～2000 倍	収穫 3 日前まで	3 回以内

★高温・乾燥に注意！

・高温・乾燥により害虫被害が懸念されます。特に非結球アブラナ科葉菜類の「**キスジノミハムシ**」や野菜全般での「**アザミウマ類**」、「**ハダニ類**」、「**うどんこ病**」等の発生に気を付けましょう。
・熱中症に気を付けましょう。高温時の作業は避け、なるべく2 人以上で作業し、時間を決めて声を掛け合うようにしましょう。また、**20 分おきに休憩と水分補給**をし、体温を下げるように努めましょう。屋外やハウスで人と十分な距離が確保できる場合には**マスクを外す**ようにしましょう。

★圃場周辺の除草をしましょう

害虫の住処になりますので、圃場外の草にも注意しましょう。除草剤を使用する際は、圃場（ハウスを含む）内の作物に登録のある薬剤を散布するようにして下さい。

★刈払い作業時の事故に注意！

・手袋、安全靴、保護メガネ又はフェイスシールド等を着用し、切断した草や小石等が飛んできても自身を保護できるようにしてください。
・傾斜地では足場を確認しましょう。足元が滑りやすく、崩れることもあり、転倒の恐れがあります。
転倒時に刈刃に触れてケガをする事故が多発しています。一歩ずつ足場を確認しながら作業しましょう。高低差のある畦畔、水路、堤防等の法面は、特に注意してください。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

JA 兵庫六甲　神戸西営農総合センター

野菜病害虫発生予察情報　令和３年度　第７号

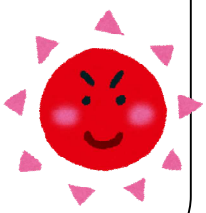
調査日　　令和３年７月１４日
調査圃場　　３４圃場（軟弱、トマト、なす、ねぎ、にら、スイートコーンなど）
調査機関　　神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・JA全農兵庫県本部
兵庫県農業共済組合・農薬、肥料メーカー・JA兵庫六甲

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数（または使用量）	使用時期	本剤の使用回数
こまつな みずな	キスジノミハムシ コナガ	多 少	増 増	ブロフレア SC	100～300L/10a	2000 ～ 4000 倍	収穫前日まで	3 回以内
ねぎ	アザミウマ類	少	増	スピノエース顆粒水和剤		2500～5000 倍	収穫 3 日前まで	3 回以内
にら	ネギアザミウマ	多	増	スタークル顆粒水溶剤		2000 倍	収穫前日まで	2 回以内
なす	ハダニ類	少	増	アファーム乳剤		2000 倍	収穫前日まで	2 回以内
きゅうり	アブラムシ類	少	増	スタークル顆粒水溶剤		2000～3000 倍	収穫前日まで	2 回以内
	アザミウマ類	少	増			2000 倍		
ピーマン	斑点病	少	並	ベンレート水和剤		2000～3000 倍	収穫前日まで	3 回以内
トマト	オンシツコナジラミ	少	並	アディオン乳剤		2000～3000 倍	収穫前日まで	3 回以内
	灰色カビ病 葉カビ病	少 中	並	アフェット フロアブル		2000 倍	収穫前日まで	3 回以内
とうもろこし	アワノメイガ	中	並	プレバソン フロアブル5		2000 倍	収穫前日まで	3 回以内
モロヘイヤ	アザミウマ類	中	増	スタークル顆粒水溶剤		2000 倍	収穫前日まで	2 回以内
えだまめ	カメムシ類	中	並	ランネート45DF（劇）		1000～2000 倍	収穫 7 日前まで	3 回以内

★害虫の増加に注意！

梅雨があけると、高温乾燥が続き、害虫の発生・増加が懸念されます。圃場の水分管理と薬剤での予防に努めてください。ただし、日中は非常に高温になることが予想されます。こまめな水分補給と涼しい時間帯での作業に努めていただくなど、熱中症対策にも十分ご留意下さい



★圃場周辺の除草をしましょう

害虫の住処になりますので、圃場外の草にも注意しましょう。
除草剤を使用する際は、圃場（ハウスを含む）内の作物に登録のある薬剤を散布するようにして下さい。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

JA 兵庫六甲　神戸西営農総合センター

野菜病害虫発生予察情報　令和３年度　第６号

調査日　　令和３年６月２３日（水）
調査圃場　　３７圃場（軟弱、なす、トマト、きゅうり、ねぎ、スイートコーンなど）
調査機関　　神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・ＪＡ全農兵庫県本部
兵庫県農業共済組合・農薬、肥料メーカー・ＪＡ兵庫六甲

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数（または使用量）	使用時期	本剤の使用回数
こまつな みずな	キスジノミハムシ コナガ	多 少	増 並	アクセルフロアブル	100～300L/10a	1000 倍	収穫前日まで	3 回以内
ほうれんそう	ホウレンソウケナガコナダニ	中	並	カスケード乳剤		4000 倍	収穫 3 日前まで	3 回以内
ねぎ	さび病	少	増	アミスター20フロアブル		2000 倍	収穫 3 日前まで	4 回以内
にら	アザミウマ類	少	並	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		4000 倍	収穫前日まで	3 回以内
なす	アザミウマ類	少	並	スピノエース顆粒水和剤		2500～5000 倍	収穫前日まで	2 回以内
きゅうり	ハダニ類 アブラムシ類 コナジラミ類	少	増	モベントフロアブル		2000 倍	収穫前日まで	3 回以内
ピーマン	斑点病	少	並	ダコニール 1000		1000 倍	収穫前日まで	3 回以内
トマト	灰色カビ病	少	並	アミスター20フロアブル		2000 倍	収穫前日まで	4 回以内
えだまめ	カメムシ類	少	並	スタークル顆粒水溶剤		2000 倍	収穫 7 日前まで	2回以内

★ナメクジ被害に注意

野菜類全般でナメクジによる被害が発生しています。発生時にはハウスの侵入口付近や作物近辺等に薬剤を均一に処理してください。薬剤が作物にかからないように注意してください。　薬剤:スラゴ

★圃場周辺の除草をしましょう

害虫の住処になりますので、圃場外の草にも注意しましょう。除草剤を使用する際は、圃場（ハウスを含む）内の作物に登録のある薬剤を散布するようにして下さい。

★第4次高収益作物次期作支援交付金

対象品目:切り花、メロン、つまもの類、香酸カンキツ
対象条件:①上記品目について令和3年1月～3月の間に出荷実績があること（廃棄等により出荷できなかった場合も対象）
② 高収益作物について次期作に前向きに取り組む生産者
③ 収入保険、農業共済等に加入している、または加入を検討する生産者
申請期間:7 月 16 日（金）〆切（お早めにご相談下さい）
交付金の詳細についてはお近くの JA 各支店へ！

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

JA 兵庫六甲　神戸西営農総合センター

野菜病害虫発生予察情報　令和３年度　第５号

調査日　　令和３年６月９日（水）
調査圃場　　３６圃場（軟弱、なす、トマト、きゅうり、ねぎ、スイートコーンなど）
調査機関　　神戸農業改良普及センター、JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行　　JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数（または使用量）	使用時期	本剤の使用回数
こまつな みずな	キスジノミハムシ	少	増	ブロフレア SC	100～300L/10a	2000～4000 倍	収穫前日まで	3回以内
	コナガ	少	増					
ほうれんそう	**ホウレンソウケナガコナダニ**	多	並	コテツフロアブル（劇）		4000～6000 倍	2葉期までただし収穫14日前まで	1回
ねぎ	**アザミウマ類**	少	増	ディアナ SC		2500～5000 倍	収穫前日まで	2 回以内
にら	**アザミウマ類**	少	増	ディアナ SC		2500～5000 倍	収穫前日まで	2 回以内
なす	**アザミウマ類**	少	増	グレーシア乳剤		2000 倍	収穫前日まで	2回以内
	ハダニ類	少	並					
とうもろこし	アワノメイガ	少	並	プレバソンフロアブル 5		2000 倍	収穫前日まで	3回以内
モロヘイヤ	**アザミウマ類**	少	並	スピノエース顆粒水和剤		5000 倍	収穫3日前	3回以内
えだまめ	カメムシ類	少	並	カスケード乳剤		4000 倍	収穫前日まで	2回以内

★アザミウマ類に注意しましょう！

前回の調査に引き続き、野菜類全般で露地・ハウスを問わずアザミウマ類の発生が確認されました。葉の萎縮症状や、果菜類では果実への被害も懸念されます。早期防除を心がけましょう。

★乾燥と害虫の発生に注意！

野菜類全般で「バッタ」の被害、特に枝豆やスイートコーンで「カメムシ」が確認されました。
圃場周辺に雑草がたくさん生えていると、バッタやカメムシがたくさん圃場に飛び込んでくることになります。
登録農薬による防除に加えて、草刈りなど圃場周辺の環境整備に努めましょう。

★のどが渇く前に水分補給を！

熱中症対策をしっかり行いましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報　令和３年度　第４号

調査日　　令和２年５月２６日（水）
調査圃場　　３８圃場（軟弱、なす、トマト、きゅうり、ねぎ、スイートコーンなど）
調査機関　　神戸農業改良普及センター、JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行　　JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数（または使用量）	使用時期	本剤の使用回数
小松菜・水菜 チンゲンサイ	キスジノミハムシ	少	増	アニキ乳剤	100～300L/10a	1000～2000 倍	収穫前日まで	3回以内
ほうれんそう	**ホウレンソウケナガコナダニ**	中	並	カスケード乳剤		4000 倍	収穫 3 日前まで	3 回以内
	べと病	少	並	ランマンフロアブル		2000 倍	収穫 3 日前まで	3 回以内
ねぎ	**アザミウマ類**	中	増	スタークル 顆粒水溶剤		2000 倍	収穫 3 日前まで	2 回以内
にら	アザミウマ類	少	増	ディアナ SC		2500～5000 倍	収穫前日まで	2 回以内
なす	ミナミキイロアザミウマ ミカンキイロアザミウマ	少	増	コテツフロアブル（劇）		2000 倍	収穫前日まで	4 回以内
きゅうり	**アザミウマ類**	中	増	スピノエース 顆粒水和剤		5000 倍	収穫前日まで	2 回以内
じゃがいも	疫病	少	並	アミスター20 フロアブル		3000～4000 倍	収穫 7 日前まで	3 回以内
	テントウムシダマシ類	少	並	スミチオン乳剤		1000 倍	収穫 3 日前まで	6 回以内

★天候の変化に注意！

雨が続き多湿になったり、急に晴天となり乾燥したり天候の変化が激しいことが予想されます。
・病害虫が発生しやすい状況ですので、こまめに圃場を確認しましょう。
・排水路を見直し、降雨前の計画的な殺菌剤の散布で予防に努めましょう。
・日照不足により草勢が低下していることから、薬剤防除の際には薬害に注意し、気温の低い時間帯に散布するようにしましょう。
・果菜類等では通気・採光をよくするため、茎葉が混み合わないように不要な下葉や脇芽は取り除きましょう。

★アザミウマ類に注意しましょう！

今回の巡回では上記以外でもトマトやスイートコーン、モロヘイヤ等多様な品目で、露地・ハウスを問わず発生が確認されました。同系統の薬剤ばかりを多用せず、薬剤のローテーション防除を計画的に行い、密度が高くならないようにしましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報　令和３年度　第３号

調査日　　令和３年５月１２日（水）
調査圃場　　４０圃場（軟弱、きゅうり、なす、トマト、たまねぎ、にら、など）
調査機関　　神戸農業改良普及センター、JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行　　JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数（または使用量）	使用時期	本剤の使用回数
小松菜・水菜	キスジノミハムシ	少	中	モスピラン顆粒水溶剤（劇）	100～300L/10a	4000 倍	収穫 7 日前まで	1 回
ほうれんそう	**ホウレンソウケナガコナダニ**	多	多	エルサン乳剤（劇）		1000～2000 倍	収穫 21 日前まで	1回
ねぎ	アザミウマ類	少	少	アグロスリン乳剤（劇）		2000 倍	収穫 7 日前まで	5 回以内
なす	アブラムシ類	少	少	モスピラン顆粒水溶剤（劇）		4000 倍	収穫前日まで	3 回以内
きゅうり	**アザミウマ類**	多	多	スタークル顆粒水溶剤		2000 倍	収穫前日まで	2 回以内
たまねぎ	**アザミウマ類**	中	中	パダン SG 水溶剤（劇）		1500 倍	収穫前日まで	3 回以内
	べと病	多	多	アミスター20 フロアブル		2000 倍	収穫前日まで	4 回以内
じゃがいも	アブラムシ類	少	少	モスピラン顆粒水溶剤（劇）		2000～6000 倍	収穫 7 日前まで	3 回以内
	テントウムシダマシ類	少	少			2000～4000 倍		

★昨年より25日早い梅雨入り！長雨に警戒しましょう！

【事前対策】ビニールハウス等の施設、果菜類等の支柱や誘引紐にゆるみがないか、排水溝や水路にも、ごみが詰まっていないかを再点検してください。

【事後対策】排水をしっかり行いましょう。
肥料が流れたと思われる場合は追肥、液肥の葉面散布等を行いましょう。
病害の発生に備え、株全体を洗うように丁寧に殺菌剤を散布しましょう。

＊施設が破損した場合は状況写真を撮り速やかに JA へ連絡してください。（危険な箇所には近づかない）

★たまねぎのべと病に引き続き注意！

たまねぎのべと病が発生しています。
・発病株から飛散する胞子で圃場に蔓延するため、収穫前の圃場は薬剤散布を必ず行いましょう。
・収穫後も罹病株は圃場内に放置せず、ビニールに密閉して圃場外で処分するようにしましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報 令和３年度　第２号

調査日　　令和３年４月２８日（水）
調査圃場　　３８圃場（葉物野菜、ねぎ、にら、たまねぎ、トマトなど）
調査機関　　神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、
JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行　　JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数（または使用量）	使用時期	本剤の使用回数
小松菜	キスジノミハムシ	少	中	スタークル顆粒水溶剤	100～300L/10a	2000 倍	収穫 3 日前まで	2 回以内
ほうれんそう	ホウレンソウケナガコナダニ	少	中	カスケード乳剤		4000 倍	収穫 3 日前まで	3 回以内
ニラ	アザミウマ類	少	少	スピノエース顆粒水和剤		10000 倍	収穫前日まで	3 回以内
きゅうり	アザミウマ類	中	中	アファーム乳剤		2000 倍	収穫前日まで	2 回以内
レタス	アブラムシ類	少	少	アディオン乳剤		2000～3000 倍	収穫 3 日前まで	5 回以内
たまねぎ	べと病	少	中	アミスター20フロアブル		2000 倍	収穫前日まで	4 回以内

≪病害虫情報≫

◆たまねぎのべと病に引き続き注意！！

たまねぎのべと病が発生しています。べと病菌はカビの一種で胞子の飛散で蔓延します。感染株は２週間で発病し発病株から胞子が作られ急速に拡大します。圃場をよく観察し対策を行って下さい。

【対策】
・罹病した株は、直ちに抜き取りビニールに密閉して圃場の外で処分する。
・薬剤散布をしていない圃場では発生の有無にかかわらず、薬剤防除する。

◆小松菜のキスジノミハムシに注意！！

キスジノミハムシの発生を確認しました。今後発生が増える時期となりますので、圃場をよく観察し初期防除を徹底して下さい。

《気象情報》

◆気温の急変化に注意！！

農水省は今後の気象状況について、気温の急激な変化による農産物の被害防止に注意喚起をしています。今後１カ月気温の高低差が予想されることからハウスの換気や水管理に注意して下さい。

※近畿地方１ケ月予報（気温）5/1～7：平年並みか低い　5/8～14：平年並み　5/15～28：高い

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報　令和３年度　第１号

調査日　　令和３年４月１４日（水）
調査圃場　　３７圃場（葉物野菜、ねぎ、にら、たまねぎ、トマトなど）
調査機関　　神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、
JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行　　JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数（または使用量）	使用時期	本剤の使用回数
小松菜	キスジノミハムシ	少	並	アニキ乳剤	100～300L/10a	1000～2000 倍	収穫前日まで	3 回以内
ほうれんそう	ホウレンソウケナガコナダニ	中	増	アファーム乳剤		2000 倍	収穫 3 日前まで	2 回以内
レタス	アブラムシ類	少	並	スタークル顆粒水溶剤		2000～3000 倍	収穫 3 日前まで	2 回以内
たまねぎ	べと病	中	増	アミスター20 フロアブル		2000 倍	収穫前日まで	4 回以内
	アザミウマ類	少	並	パダン SG 水溶剤（劇）		1500 倍	収穫前日まで	3 回以内
ねぎ	さび病	中	並	アミスター20 フロアブル		2000 倍	収穫 3 日前まで	4 回以内
	アザミウマ類	少	増	パダン SG 水溶剤（劇）		1500 倍	収穫前日まで	2 回以内

≪病害虫情報≫

【たまねぎのべと病に注意！！】

たまねぎの一部圃場でべと病の発生が見られました。今後も発生の好適な環境（気温１５℃前後で曇雨天日が続く）と予想されていますので、圃場をよく観察し注意して下さい。

◆対策◆

・罹病した株は、直ちに抜き取りビニールに密閉して圃場の外で処分する。
・薬剤散布をしていない圃場では発生の有無にかかわらず、薬剤防除する。

【ホウレンソウケナガコナダに注意！！】

ホウレンソウケナガコナダニに発生が見られました。適温は２０℃前後で春期と秋期の施設栽培では大きな被害が生じることがありますので、特にこの時期注意して下さい。

≪イベント情報≫

【春の感謝祭】
日時：令和３年４月２３・２４日（金・土）９：００～１６：００
場所：神戸西カントリーエレベーター前

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。